

バイオものづくり革命推進事業

余剰汚泥を使った従属栄養性藻類の培養とバイオディーゼル系脂肪酸原油生産の実証事業

事業の目的・概要

未利用資源 活性汚泥を用いて、低炭素低コストのバイオ原油を開発する。

【研究開発項目①-a/委託】：国内外の未利用糖分廃液の調査および回収

【研究開発項目①-b/助成】：未利用・廃棄有機栄養資源の最適加水分解法の開発

【研究開発項目③ /助成】：連続培養による藻類バイオマス生産の検証

【研究開発項目④ /助成】：生成された脂肪酸原油の分離・精製・加工技術の開発・実証

【研究開発項目⑤ /委託】：LCAモデルの構築と温室効果ガス削減量及びバイオディーゼル生産コストの算定

事業期間

2024年度～2026年度(3年間)

実施体制

※太字：幹事企業

ANAホールディングス株式会社 (①-a, ③, ④, ⑤)

フィコケミー株式会社 (①-b, ③, ④, ⑤)

事業規模など

□事業規模： 約5.9億円 □支援規模*：約3.3億円

*助成補助率 … ①-b：1/2, ③：2/3～1/2, ④：1/2～1/3

事業イメージ

国土が狭隘でかつ非エネルギー資源国である日本において、国内の下水処理場の汚泥を培地とする従属栄養性藻類の活用によって、低炭素/低コストなバイオ原油を短時間に大量に生産する事業を展開し、国産エネルギー供給を目指す。

